

姉妹友好都市への派遣及び受入事業の中止について

毎年、姉妹友好都市との相互交流として使節団の派遣及び受入を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行を受け、海外渡航を伴う参加者の安全確保が困難と判断し、令和2年度における姉妹都市への派遣及び受入事業を中止することとなりました。毎回多くの関係者にご協力をいただくとともに、多くの皆様が楽しみにしていたことと思いますが、参加者の安全を第一に考え中止を決定しましたので、ご理解をいただけますようお願いいたします。

なお、来年度以降の予定につきましては今後調整することとなりますので、事業が再開した際には多くの皆様のご参加をお待ちしております。

近年の交流の様子 ~Photo gallery~



▲令和元年度高校生親善使節団受入



▲令和元年度文化使節団受入



▲令和元年度日本秋まつり派遣

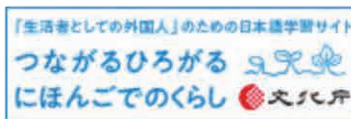
オンライン日本語学習 Learn Japanese online

伊勢崎市国際交流協会では日本語を勉強している外国人のために無料で勉強できるオンライン学習コンテンツを紹介しています。インターネットに接続しているパソコンやスマートフォンがあれば、自宅や職場など場所を問わず自主学習できます。日本語を学ぶ人や興味のある人はぜひお試しください。

(注)サービス利用料は無料ですが、インターネット接続に係る通信料は自己負担です。

文化庁／つながるひろがる にほんごでのくらし

- ・はじめて日本語を学ぶ人向け
- ・多言語対応（6言語）
- ・URL: <https://tsunagarujp.bunka.go.jp/>



NHKワールドJAPAN/日本語学習番組

- ・初級～中級まで
- ・多言語対応（最大20言語）
- ・URL: <https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/learnjapanese>



新規会員募集中！

国際交流の推進や国際理解など、協会の目的に賛同していただける人を募集しています。

○年会費 個人会員2,000円
団体会員5,000円

○申し込み・問い合わせ
伊勢崎市国際交流協会事務局
(伊勢崎市市民部国際課内)
〒372-8501
伊勢崎市今泉町二丁目410番地
TEL (0270) 27-2731
FAX (0270) 23-9800
Mail: i-exchange@dan.wind.ne.jp

協会ホームページをご覧ください

外国人住民向けの生活情報やイベント情報などを掲載しています。是非ご覧ください。
URL: <http://www7.wind.ne.jp/kokusai/>



Facebookの運用をはじめました！

イベントの開催案内や災害時等の情報をはじめ、生活や行政に関する情報を発信するため、新しくフェイスブックの運用を開始しました。会員の皆様や本市の国際交流に興味のある人が伊勢崎市国際交流協会を身近に感じ、興味をもっていただけるような情報発信をしていく予定です。フェイスブックを利用していない人でもインターネット上で閲覧できます。フェイスブックを利用されている人はぜひ「いいね！」や「シェア」をお願いします！

URL: <https://www.facebook.com/isesaki.kokusai/>



伊勢崎市国際交流協会会報

希望の翼



新型コロナウイルス感染症の世界的な流行を受け、世界の誰もが経験したことの無い状況に直面しています。

私たちは世界中の友人たちと互いに手を取りあい、共にこの困難を乗り越えていくことが大切です。一人ひとりが責任ある行動をとり、他人を思いやることを忘れずに生活し、平和で心豊かな世界が戻ることを心から願っています。



TOPICS 令和2年度伊勢崎市国際交流協会の総会について

当協会の総会につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から書面での開催となりました。例年と異なる開催方法にも関わらず、会員の皆様のご協力により滞りなく議案の承認をいただくことができました。今後は感染症対策を念頭に置いた事業運営が必要不可欠となりますが、安全に配慮した事業を実施してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

TOPICS 当協会が主催するイベント等の実施予定について

当協会が主催するイベント等については、既に中止が決定しているものや内容を変更し実施するものがあります。実施の可否については、それぞれのイベントごとに感染リスクに対する評価を行ったうえで、十分な感染防止対策が実施できるものから順次開催いたします。開催や中止の情報などはホームページ (<http://www7.wind.ne.jp/kokusai/>) 及び、新規に開設したフェイスブック (<https://www.facebook.com/isesaki.kokusai/>) でお知らせします。

特集

いせさきで活躍する外国人

伊勢崎市は群馬県の中で外国人住民数が一番多いってご存じでしたか？そんな多国籍な本市において、ボランティアとして活躍している外国人にスポットをあて取材を行いました。二人は本市で募集しているボランティアに登録し、市内の多文化共生事業をはじめ多くのイベントに参加し共生のまちづくりに貢献しています。二人のほかにも多くの皆さんがボランティア活動を通して多文化共生に協力しています。興味のある人はぜひ右ページの登録方法をご確認ください！



国際ボランティア
ザベル ムハンマドさん
(バングラデシュ出身)

Profile

ザベルさんは日本に住んで約10年。来日当初から伊勢崎市に住んでいます。住んでいる地域にあるモスクでイマーム（礼拝の指導者）を務めながら、市国際交流協会のボランティアとしてモスクに通う人や地域に住む外国人の皆さんに市からの情報や生活ルールを教えています。特技はグラフィックデザインやウェブデザインで、日本語以外に6言語を操ります。

感染症対策に取り組む中で感じた自分の役割

私はイマーム（指導者）としてモスクでの礼拝を先導しており、モスクを訪れる人達にイスラムの教えを説いています。モスクでは子どもたちが勉強する教室もあり、子どもから大人までたくさんの人が訪れますし、礼拝にはバングラデシュやパキスタン、マレーシアやインドネシアなど、言語や文化も違う人たちがたくさん集まっています。私はベンガル語やウルドゥー語、英語や日本語など数か国語が話せるので、多言語で対応し地域の外国人と交流しています。イマームとして地域の外国人から悩み相談を受けたり、トラブルを解決する活動をすることもあり、その中で日本語が分からず市役所からの通知が理解できない人のサポートもしています。

そうした日々の活動の中、今年は新型コロナウイルス感染症の対策に取り組むこととなりました。モスクでの感染予防については、日ごろのネットワークを活用し、効果的に周知をすることがで

きていると思います。対策の方法については、国際ボランティアに届く情報や市のホームページなどを参考にし、地域の外国人住民と共有するため、次々に作られる新しいルールやお知らせをモスク内の掲示板やオンラインのグループメッセージを使って情報発信していました。日本語を読むことが難しい人のため、自分の声を録音して配信したりもしました。

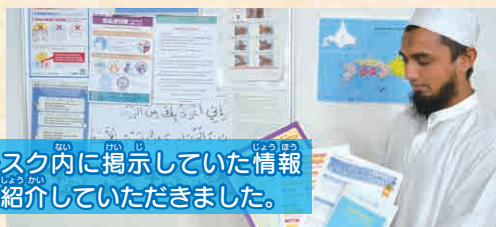
そのような取り組みを行う中で、外国人住民が知るべき情報をキーパーソンが翻訳や拡散をして共通認識を作ることがとても重要であると感じました。これからもモスクに関わる外国人住民には市からのお知らせを伝えていきたいです。

また、モスクでは交通や防災、火災予防などの勉強会も開催しており、これからもモスクをひとつの会場として日本のルールや生活情報を学ぶ場を設け、外国人住民が必要としている情報を発信できるように活動していきたいです。

住んでいる土地の文化を尊重し、まわりの人から信頼を得ること

共生というのは、今では世界中で当たり前前に存在している普通のことだと思います。私はモスクの周辺に迷惑が掛からないように車の駐車や喫煙など、ルールを守るよう注意しています。そのような活動を長年続けていくことが、相互の理解につながると思っているからです。

外国人として感じることは、まず日本のルールを守り文化を尊重することが大切だと思っています。自分達の文化を押し付けるのではなく、相手のルールを敬い、尊敬の気持ちを持って接しないと共生は難しいと思います。これからもこのモスクを中心に私たちが地域で「共生」していけるよう、自分にできる活動を続けていきます。



モスク内に掲示していた情報を紹介していただきました。

国際ボランティア

地域における国際交流や多文化共生を推進するため、語学・文化紹介・イベント運営などの分野で協力していただけるボランティアを募集しています。

- 対象 本市の国際交流や多文化共生の推進に関心を持つ団体または18歳以上の入
- 申し込み・問い合わせ 市国際交流協会事務局 TEL0270-27-2731（伊勢崎市市民部国際課内）

災害時外国人支援ボランティア

大規模な災害時に、外国人住民等へ情報提供などの支援をしていただくボランティアを募集しています。

- 対象 外国語で通訳と翻訳ができる18歳以上の人で、無報酬で協力できる人。
- ※高校生は除きます。※日本国籍でない人は在留資格が必要です。
- 申し込み・問い合わせ 伊勢崎市市民部国際課 TEL0270-27-2731

支えられる側から支える側へ

私は約20年前に大好きな着物がきっかけで来日しました。日本に来た頃は、なんだかお客さんのような気分で、周りに迷惑をかけないように控えてました。しかし、子育てをしながら地震や津波、洪水などを経験した時に、親として知識が足りないと感じ、一人の住民として生活しているのだと感じるようになりました。まずは自分や自分の身の回りの人を守りたいという気持ちから災害時外国人支援ボランティアに登録しその後、防災士の資格も取得しました。

防災士として参加した地元の防災訓練では、企画の段階から参加できて、とても貴重な体験をすることができました。その時に、外国出身だからこぞできる活動があるのではないかと感じました。伊勢崎市に住む外国人の中で、それぞれ出身ごとにキーとなる人間が情報を発信できれば理想ですね。

また、私は防災に関する活動の他にも日本語教室で外国人に日本語を教えています。それも最初は自分の日本語の上達が目的でしたが、今では数十か国の国からきた人達と楽しく勉強しています。その中で自分で学んだ防災のことを教材にして活用することもできました。

その他には、PTA活動でたくさんの経験をすることができました。最初に活動に加わる時は、不安でしたが地域の保護者たちとつながれた事がとても嬉しかったです。まわりの人も私がちゃんと活動できるのか心配だったと思います。しかし、



災害時外国人支援ボランティア
丸山 静さん（中国出身）

Profile

丸山さんは日本に住んで約20年。PTAやおまつり行事など地域の活動に積極的に参加し、東日本大震災などの経験から「防災士」の資格も自ら取得。市の災害時外国人支援ボランティアで活躍するほか、ボランティアで外国人に日本語も教えています。

頑張っって取り組んでいたら信頼してもらえ、地域に貢献できることを実感しました。分からないからやらないのではなく、分かるまで頑張れば必ず報われると思いますし、意欲があれば誰にだってできるはずですよ。

ボランティアとしてさまざまな活動をするようになり感じたことは、住んでいる地域に貢献すれば、その地域がより住みやすくなり、その結果自分や家族が住みやすくなるということです。

もちろん無理のない範囲で、自分のできることをするという事も重要です。1年や2年ですぐ良くなるような活動ではないですが、地域のために長く活動したいと思っています。

ルーツやバックグラウンドにこだわらず、多様性を認めること



研修で消防署を訪問した丸山さん

以前大雨が降った時、川の近くに住む日本人の知人に、避難方法や垂直避難について電話で教えたことがありましたが、外国人とか日本人とかではなく、一人ひとりが住民として相互に助け合える気持ちを持つということが、住みやすい地域づくりにつながっていると思います。

60カ国以上の国から来た人達が住む伊勢崎市で、一つの情報をすべての言語に翻訳することは不可能です。大切だと思うことは、まず自分が住んでいる地域やまわりの事を良く知ることです。国籍は関係なく、一人ひとりがその地域に住む住民として、文化やルールを知ることが大切なのではないのでしょうか。